

豊田市特産「愛宕梨」の重さ競う

第20回ジャンボ梨コンテスト開催



豊田市特産の「愛宕梨」の出荷がいよいよ始まります。JAあいち豊田梨部会（部会長：川上義喜くわかみよしき）／部会員：45戸）が出荷に合わせて「第20回ジャンボ梨コンテスト」を11月5日（木）イオンスタイル豊田で開催します。

このコンテストは、日ごろ高品質な梨作りを目指している部会員が、愛宕梨の重量を競うことにより生産技術の向上を図ると共に、来季に向けて一層生産意欲を向上させることが目的です。最近では核家族化が進み、消費者の需要に応じて小ぶりの愛宕梨を中心に生産していますが、部会員はコンテストの優勝に向け通常の出荷基準に比べ、より大きな愛宕梨を生産しようと、春先からの農作業に力をいれています。

出品者は約26人（予定）。今年も昨年のようなジャンボな梨の出品が期待されます。コンテスト優勝の梨は、11月6日（金）に豊田市公設地方卸売市場に出荷します。希少な梨のため、高値の取引が期待されます。



▲昨年は2.668kgの梨が優勝

取材日時 令和2年11月5日（木）午前10時 ～

表彰式は後日行います。

場所 イオンスタイル豊田（豊田市広路町1丁目1）

審査 梨の重量で順位を決めます。

同じ場合は胴回りのサイズが大きいものとします。

各賞 愛知県知事賞、豊田市長賞、JAあいち豊田組合長賞、愛知県果樹振興会長賞

JAあいち経済連会長賞、JAあいち豊田梨部会長賞

《令和2年 JAあいち豊田梨部会の概要》

- ・栽培面積:28.5ha
- ・栽培農家(部会員):豊田市猿投・上郷地区の45戸
- ・出荷量:今年は全品種で約400t予定(昨年は約397t)
- ・栽培品種:愛甘水・幸水・あきづき・愛宕など8品種
- ・愛宕梨は、26戸の農家が281aで栽培。今年は約46tの出荷を見込んでいます(昨年は35トン出荷)

愛宕梨は、果肉は柔らかく、甘みと酸味が調和したみずみずしい梨。サイズは、通常でも約1キログラム、大きいもので3キログラムを超えます。非常に日持ちが良いのが特徴で、贈答品として人気があります。

出荷は11月上旬から12月上旬まで。JA選果場直売所などで購入できます

お問い合わせ先 : JAあいち豊田 営農部 猿投営農センター 選果場

住所 : 豊田市四郷町森前187番地 担当 : 砂川

TEL (0565) 46-2217

FAX (0565) 43-2031